

「 明るく・いつも・先に・続ける 」

おはようございます。42日間の長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。みなさんの夏休みはどうでしたか。真っ黒に日焼けした人、やるべきことを計画的にやり遂げて充実した夏休みを過ごした人、長い休みの期間にしかできない貴重な体験をした人・・・こうやって久しぶりにみなさんの姿を見るとちょっとした間に一段と大人びたなあと感じます。それぞれの42日間の成果を活かして2学期も頑張っていきましょう。

さて、新学期のスタートにあたり、今日は「明るく・いつも・先に・続ける」というお話をします。明るく・いつも・先に・続けることって何だと思えますか。人が生きていく上でとても大切なことです。もう気づいた人もいるようですね。ヒントを出します。4つのキーワードの最初の一文字をつなげてみてください。明るく・いつも・先に・続ける・・・そうです。あいさつですね。

学校に来るお客さんや保護者の方によく言われることがあります。「朝霞一中の生徒は本当によくあいさつができますね。」そういうお褒めの言葉をたくさんいただきます。中には「どうやって指導されているんですか」と聞かれることもあります。でも、みなさんは先生方からあいさつをしろと強要されているわけではないですよ。そもそもあいさつは人から言われて無理にするもので

はありません。

私は一中に赴任して今年で4年目になりましたが、ずっと続けていることがあります。それは毎朝、正門のところに立ってみんなに「おはよう」と声をかけることです。これだけは雨の日も風の日も夏の暑い日も冬の寒い日も欠かさず続けてきました。今から3年前数か月前の4月8日に立ち始めたときは一人きりでした。今のみなさんには信じられないかもしれませんが、最初は、朝「おはようございます」と声をかけても半分くらいの方は黙って通り過ぎていきました。そのうちに先生方が一緒に立ってくれるようになりました。おはようという声に「おはようございます」と返してくれる生徒がだんだん増えてきました。やがて生活委員の人や自治委委員の人、生徒会の人、部活動ごとに生徒も一緒にあいさつに立ってくれるようになりました。私は一度も一緒に立ってくださいとお願いしたわけではないのですが、今では朝霞一中の朝の当たり前の風景になりました。そして今のように自然に挨拶ができる一中生になりました。

あいさつは「心の握手」、相手の存在を尊重して、相手をかけがえのない一人の人間として認めることです。おはようございます。こんにちは。さようなら。あいさつが自然にできる人はさらに「ありがとうございます」や「ごめんなさい」などの言葉も自然に出るようになります。

さて最初に返って、明るく・・・やはりあいさつは明るく元気に交わしたいものです。いつも・・・あいさつが習慣になっている人はいつも人との関係がうま

くいきます。先に・・・これができたら素晴らしい。明日の朝から競争です。校長先生が先に「おはよう」と言うか、みんなの方からさきにあいさつをしてくれるか。続ける。・・・時には気分が落ち込んだり、いやなことがあるかもしれませんが。でも大切なのは続けること、多少元気がない日でも、いやそんな日にこそ元気に明るく先にあいさつを試みましょう。そしたら元気が出るかもしれません。たかがあいさつ、されどあいさつ、みなさんの明るいあいさつで友達や先生との関係がより良くなったり、学校に来た人が「ああ朝霞一中っていい学校だな」と思ってもらえたりしたらうれしいですね。

今日から2学期、明るくいつも先に行くあいさつが交わされる朝霞一中にしていきましょう。